

青梅市立学校給食センター根ヶ布調理場解体工事

解体工事資料

令和6年1月

発注者：青梅市

受注者：株式会社 海成

番号	内容	ページ
1.	工事概要	1
2.	配置図及び仮設計画図	2
3.	工程表(予定)	4
4.	車両搬入経路図	5
5.	騒音・振動・安全対策	6
6.	アスベスト含有建材の除去	9
7.	作業方法及び危険防止対策	10

1 工事概要

- (1) 工 事 件 名 青梅市立学校給食センター根ヶ布調理場解体工事
- (2) 工 事 場 所 東京都青梅市根ヶ布1丁目469番地の4
- (3) 工 事 期 間 令和5年12月27日から令和6年8月23日まで

- (4) 発 注 者 青梅市総務部施設課
建築担当 平野、高山 電話 0428-22-1111 (内線 2593)

~~(5)~~ 解体対象物

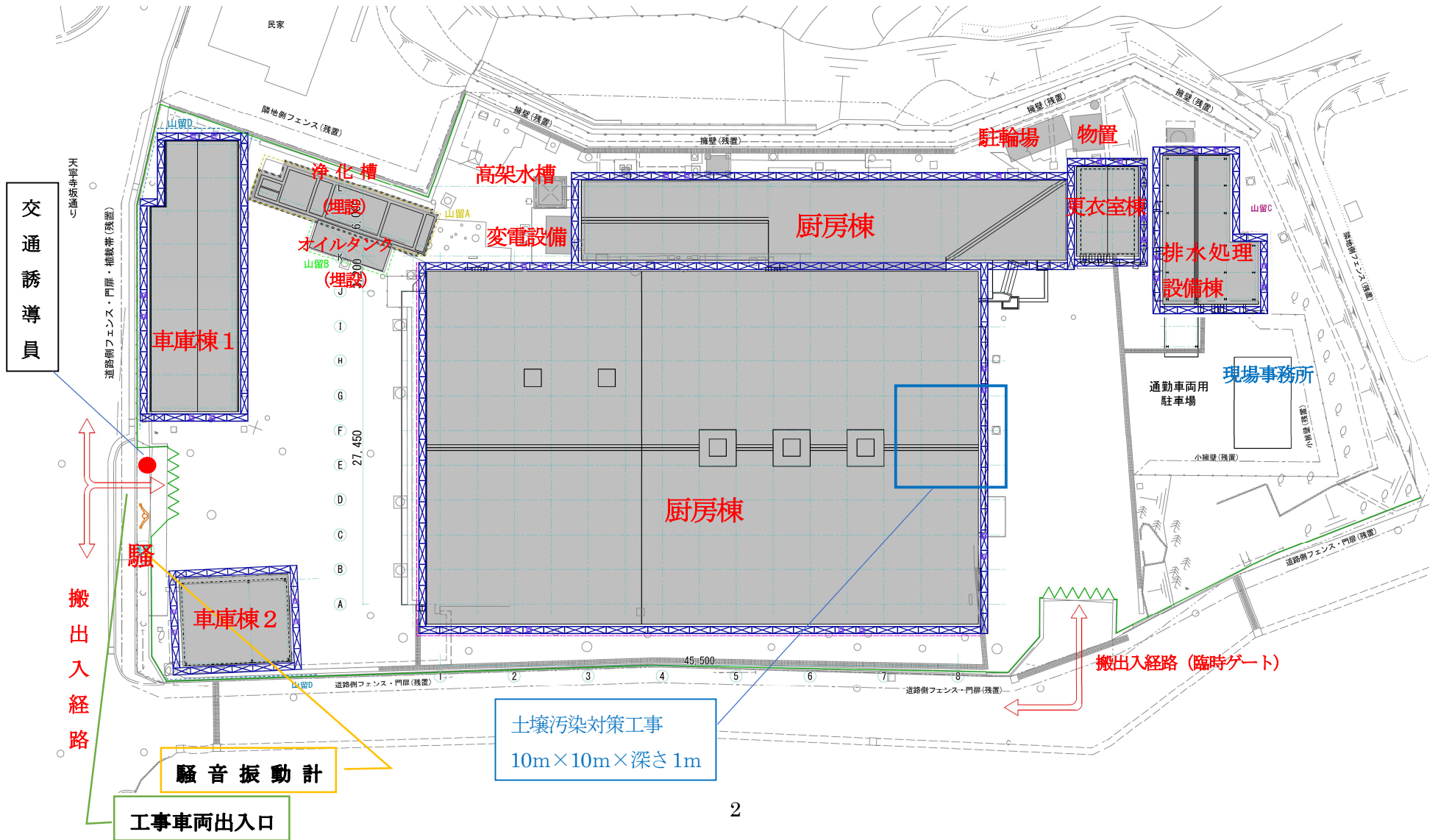
(6)

- 撤去建物
- ・ 厨房棟 (鉄骨造2階建て、延べ面積1,759.41 m²)
 - ・ 更衣室棟 (軽量鉄骨造2階建て、延べ面積66.248 m²)
 - ・ 車庫棟1 (鉄骨造平屋建て、延べ面積162.40 m²)
 - ・ 車庫棟2 (鉄骨造平屋建て、延べ面積63.00 m²)
 - ・ 排水処理設備棟 (鉄骨平屋建て、延べ面積81.116 m²)
 - ・ 物置 (鉄骨造平屋建て、延べ面積8.0 m²)
 - ・ 駐輪場 (鉄骨造平屋建て、延べ面積12.0 m²)
- 撤去工作物
- ・ 浄化槽 (鉄筋コンクリート造(埋設) 1基)
 - ・ オイルタンク (鉄筋コンクリート造(埋設) 1基)
 - ・ 排水処理槽 (鉄筋コンクリート造(埋設) 1基)
 - ・ その他 (高架水槽、受変電設備等)

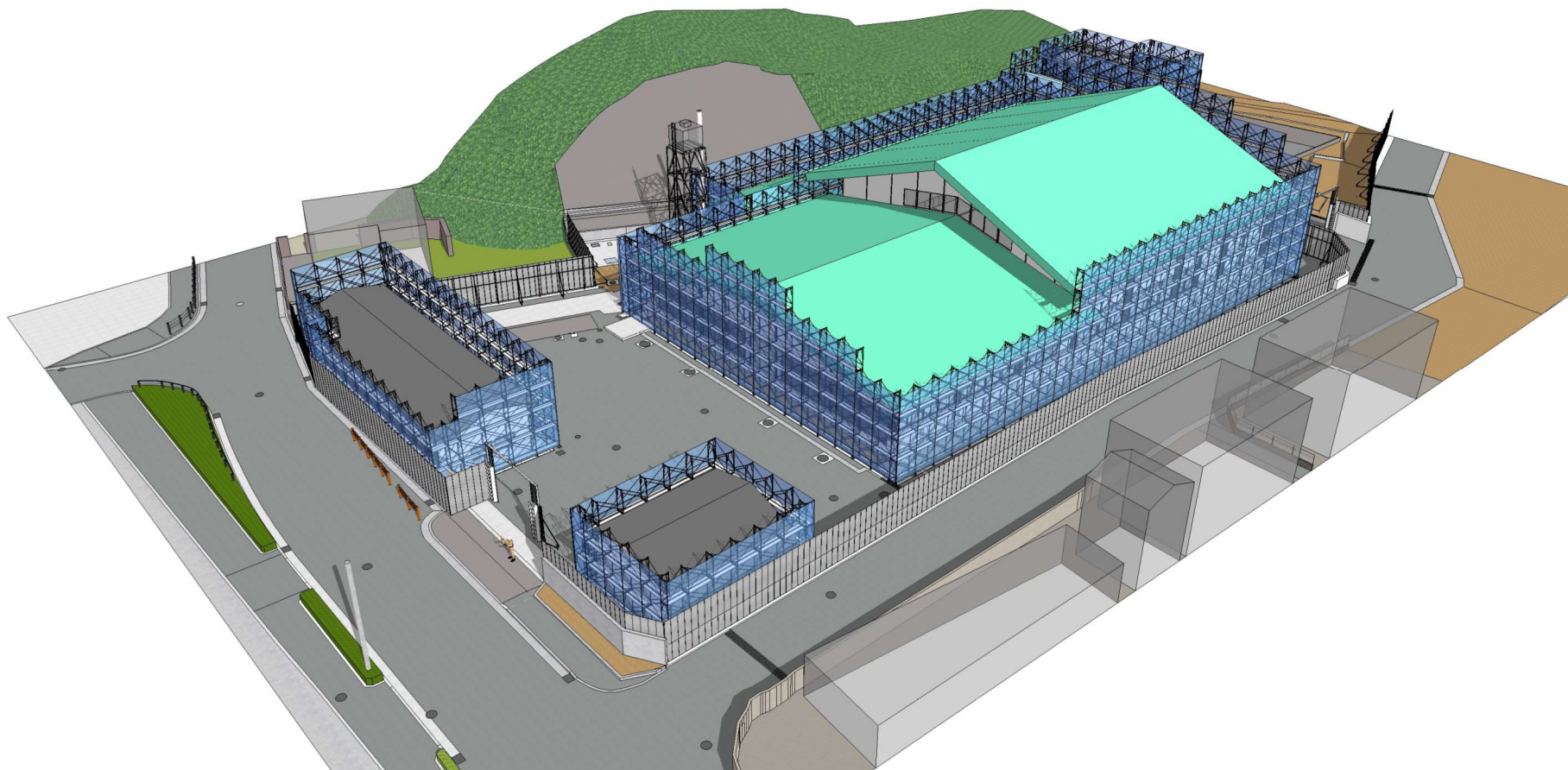
- (5) 受 注 者 株式会社 カイセイ 海 成
- 住所 東京都江東区亀戸2丁目44番10号 カブラギビル2階
株式会社 海成 東京支店 電話 03-6807-0780
現場代理人 関 義仁 携帯 090-8740-9667

2 配置図及び仮設計画図

凡例						
	解体建物		仮囲い H=3,000 (成形鋼板)		枠組足場	防音シート
	騒音振動計		シートゲート W=6,000 H=5,000		枠組足場	防音パネル



仮設設置イメージ図



3 工程表 (予定)

工種	令和6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
準備工	■								
共通仮設 仮囲い		■							
建築物解体									
直接仮設・石綿撤 去・躯体解体・内 外装解体・機械設 備・電気設備等		■							
外構									
高架水槽・変電設 備・オイルタン ク・浄化槽・舗装					■		■		
杭引抜工							■		
土壌汚染 対策工事						■			
発生材 運搬・処分			■					■	
片付け工							■		

4 車両搬出入経路図



- ①工事用車両の運行につきましては、指示内容を徹底し、歩行者の安全確保に努めます。
- ②工事用車両の出入りに際しましては、適宜交通誘導員を配置し、誘導をいたします。
特に、園児・学童・生徒の通園・通学時には細心の注意を払い、安全対策に努めます。
- ③一般車両の運行の妨げにならないよう、工事用車両および工事関係者の車両が作業場周辺の道路に違法駐車することがないように指示徹底いたします。

主に使用する機械

施工イメージ写真



バックホウ（ショベルカー）

外構解体、建屋解体、整地の全てで使用します。解体作業時はアーム先端のバケットに専用のアタッチメントを装着します。作業の段階によって中型の機械から大型の機械を使います。



フォークロー

主に伐採作業時に樹木を掴む時に使用します。



大割破砕機

主に外構解体、建物の解体時に使用します。



小割破砕機

解体後のコンクリート塊を細かく破砕する時に使用します。



鉄骨カッター

建物の鉄骨を切断する際に使用します。



スケルトンバケット

コンクリート塊とゴミ等を分別する際に使用します。



杭抜き機

大型クレーンに杭抜用のリーダーとオーガを装着した機械です。



樹木・植栽撤去状況

フォークローを装着したバックホウにて、伐倒した樹木を掴んで撤去を行います。



内装解体状況

内装の解体の殆どは手作業にて行い、金属類、木類、石膏ボード、ガラス等に分類して解体を行います。



外構解体状況

コンクリート破砕機を装着したバックホウにて外構設備の解体を行います。



建屋解体状況

大型のバックホウにコンクリート破砕機と鉄骨カッターを装着して建屋の解体を行います。



基礎解体状況

コンクリート破砕機を装着したバックホウにて建屋基礎の撤去解体を行います。



既存杭引抜き状況

既存杭の外周にケーシングと呼ばれる鋼製の管を回転圧入をさせながら超高压水を噴射し、杭と周辺土砂の摩擦を去除後、杭頭にワイヤーを掛け引きを行います。

工事安全対策 1

騒音・振動対策



厨房棟解体時の養生足場には、西側・南側は防音パネルを設置します。



厨房棟、車庫棟1・2、更衣室棟、排水処理設備棟解体時の養生足場には、防音シート（厨房棟東側・北側）を設置します。



敷地境界全面に仮囲い（3m）を設置します。



低騒音型または超低騒音型の機械を使用します。



コンクリート工作物解体時は、油圧コンクリート破砕機を使用し振動を減らします。

工事安全対策2

粉塵対策



建屋解体時に地上または足場上より破砕箇所へ散水を行い、粉塵の発生を抑制します。

環境対策



騒音振動計を設置し、現場関係者が監視を行い規制値を超えないよう現場作業を行います。

東京都指定建設作業許可基準
規制値 騒音80dB 振動70dB

安全対策



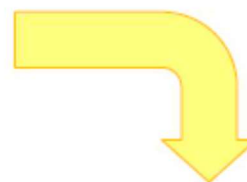
仮囲いを工事範囲外周に設置します。

工事用車両出入口には交通誘導員を配置して、安全、円滑に通行が出来る様に誘導します。

■アスベスト撤去方法(参考)

成形板の撤去

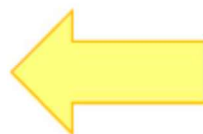
①飛散防止材等を散布し、湿潤します。



②建材をできるだけ原形のまま除去します。



厨房棟 外壁



③飛散防止対策をし、安定型処分場で処分します。



7 作業方法及び危険防止対策

(1) 解体工事の工法について

建屋の内装解体は、手こわし作業とし騒音・振動の低減を図ります。

建物本体（鉄骨造、軽量鉄骨造）の解体は、重機解体とし、低騒音型を使用し、騒音・振動の低減を図ります。

建物の周りに防音パネル(厨房棟・西側、南側)、防音シート(厨房棟東側、北側・車庫棟1、2・更衣室棟・排水処理設備棟)を設置し解体を行います。

工事車両出入口付近に、騒音振動計を設置し、現場関係者が監視を行い規制値を超えないよう作業を行います。

(2) 作業時間及び休日について

作業時間は、午前8時30分から午後5時までとし、作業時間の前後30分は作業準備、後片付け等を行います。

休日は土曜・日曜、祝祭日とします。ただし、下記の場合については、作業時間を延長し、また、土曜・日曜、祭日に作業をさせていただく場合がございます。

① 緊急時または保安上等のやむを得ない事情がある場合

(3) 安全対策について

車両の搬出入経路を定め、現場出入口および必要な個所に交通誘導員を適宜配置して、交通事故の未然防止に努めます。

(4) 粉塵、道路の清掃について

工事現場の周囲は常に清潔にし、道路を汚した際にはすぐに清掃を行い、環境の保全に努めます。また粉塵飛散防止のため励行を徹底します。

(5) 隣接建物等への安全管理について

工事現場の敷地境界周囲に高さ3mの仮囲いを設置し、建物周囲には粉塵飛散防止用足場、防音シート・パネル養生を設置し、ご近隣の皆様及び通行の皆様にご迷惑を及ぼすことのないように努めます。

(6) 現場管理（火災、風紀、衛生面）について

現場では作業日に朝礼を行い、工事中防火・防犯・風紀・衛生等のトラブル発生させないよう努めます。また出勤前の体温測定を徹底し、体調がすぐれない方については現場入場を禁止致します。

(7) アスベスト含有物の有無及び処理について

解体する建物には、外壁材、内装材の一部にアスベストが含有しています。アスベストの撤去・処分に関しては法令に則り適切に処分します。

(8) 土壌汚染対策工事について

敷地の一部（厨房棟東側付近）に一部土壌が汚染されている箇所があります。土壌汚染の撤去・処分に関しては法令に則り適切に処分いたします。